

目次

1. 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください	1~3
2. 各部の名称	4~11
● 外観図 ————— 4~5	● 構造図 ————— 6~7
● リモコン ————— 8~11	
3. 使用前の準備	12~13
● 燃料 ————— 12	● 給油 ————— 12
● 運転開始前の準備と確認 ———— 13	
4. 使用方法	14~30
● はじめてお使いになる場合 ——— 14	● 使用方法 ————— 15~27
● 凍結予防 ————— 28~29	● 使用上の注意 ———— 30
● 長期間使用しないとき ————— 30	
5. 安全装置	31
6. その他の装置	31
7. 点検・手入れ	32~34
● 日常の点検・手入れ ————— 32~34	● 定期点検 ————— 34
8. 故障・異常の見分け方と処置方法	35~37
9. 部品交換のしかた	38
10. 仕様	39
11. アフターサービス	40
12. 据付け	40~44

本品は一般家庭の給湯以外の目的(例えば業務用の使用・給湯以外の使用・車輻・船舶への搭載)に使用しないでください。



CORONA 石油小形給湯機

無料修理保証書

品番	UJIB-G4010HT	UJIB-G4010HTR
保証期間	1年	無料
部品代	1年	無料
工料など		
本体	(BL商品は2年)	
★お買上げ日	平成	年 月 日
★お客様	ご芳名	
	ご住所	
	(電話	() 番)

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
(無料修理規定)をよくお読みください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買上げの日から左記期間中故障が発生した場合、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

★販売店	住所・店名	電話 ()
------	-------	--------

株式会社 **CORONA**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL (0256) 32-2111

修理 × 毛

- ### 《無料修理規定》
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に依頼してください。
なお、難島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - 転居の場合、事前に「お買上げ販売店」にご相談ください。
 - ご事情により、本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合は、CORONAお客様ご相談窓口一覽表をご覧ください。
次の場合にも保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常電圧、異常水質(温泉水等)、指定外の使用電源(電圧、周波数)及び燃料、給水の供給事情による故障及び損傷
(ニ) 指定外の燃料、不純燃料の使用による故障及び損傷
(ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輻、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷

- (ヘ) 水垢もしくは凍結による故障及び損傷
- (ト) 当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障及び損傷
- (チ) 当社又は、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障及び損傷
- (リ) 据付け工事の不備による故障及び損傷
- (ヌ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合は無効です。
- (ル) 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- (レ) 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は、お近くのCORONAお客様ご相談窓口にお問合せください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。(BL商品は10年です。)この期間は、通商産業省の指導によるものです。

12. 据付け

試運転

試運転は販売店又は据付業者とご一緒に必ず行ってください。

運転準備 (12ページもお読みください。)

- 給油及び送油経路の空気抜きをしてありますか。又、油漏れはありませんか。
- 給湯栓を開いて水が出ますか。(熱交換器の中に水が入っていますか。) 又、配管に水漏れはありませんか。
- 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
- 各リモコンの機器への配線に間違いはありませんか。

運転 — 給湯 — (15ページもお読みください。)

■運転開始手順

- 運転スイッチを「入」にして、予熱を行ってください。
- 運転スイッチを「入」にすると、ダンパー動作音がしますが異常ではありません。同時に汲み上げポンプが運転し、油タンクから油を吸い上げます。この時汲み上げポンプに油がくるまでの間、空打ちの為、大きい音を発生することがありますが、すぐおさまりますので、そのままお待ちください。油タンクから機器本体までに、100秒以内に吸い上がらなかった場合、「給油」表示が点灯することがありますが、その場合、リモコン運転スイッチを一度「切」にした後、再度「入」にしてください。「給油」表示の解除は運転スイッチから3度しか行うことができません。さらに「給油」表示の解除が必要な場合は、機器本体のプリント基板上にあるリセットスイッチを軽く押すか、又は電源プラグを電源コンセントから抜き、約5秒後に差し込んでください。
- リモコンの「予熱中」表示が消灯してから、給湯栓を開くと燃焼を開始しお湯が出ます。

■初期運転時の異常現象

- 水道配管工事のときのゴミが機器に流れ込み、フローセンサに引っかかりますとバーナが運転しません。フローセンサを調べると共に給水口フィルタを掃除してください。

■正常運転の目安

- 給湯栓の開閉により着火、消火が行えること。
- 燃焼させた状態で、メインリモコンの給湯温度調節の操作で給湯温度が変化すること。
- 異常発煙、異常振動音がないこと。(初め青白い煙がでますが、しばらくすると消えます。)
- 油漏れ、水漏れがないこと。

運転停止

- 運転スイッチを押して「切」にします。

1. 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合はガソリン禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

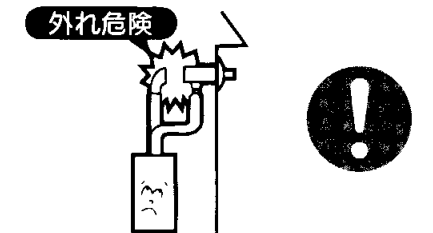
●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●外れ危険

給排気筒(管、ホース)が正しく接続されているか点検してください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。(該当機種 FFW)



●屋外機器の屋内設置厳禁

屋外機器を屋内には絶対に設置しないでください。運転中に排ガスが室内に充満して危険です。(該当機種 MW・M・MS)



1. 特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

警告

●給排気筒トップ閉そく危険

積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。(該当機種 FFW)



注意

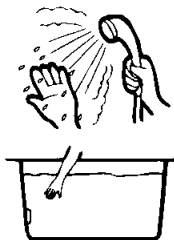
●高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



●高温注意

- シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- 入浴するときは、手で湯温を確かめてください。やけどのおそれがあります。



●可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。



●囲い禁止

機器や排気口(吹出口)を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。(該当機種 MW・M・MS)



●分解修理・改造の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。



●電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因となります。



据付後の確認

■周囲の材料と本体との距離

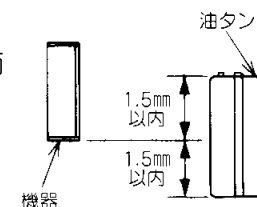
- 機器の周囲の壁は金属以外の不燃材料(コンクリート、コンクリートブロック、モルタル、しっくいなど)で仕上げてありますか。
- 火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■給排気筒の壁貫通部分及び寸法 (FFW)

- 小屋裏、天井裏などにある部分は、金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆を行ってください。
可燃性の壁、天井、小屋裏、天井裏などを貫通する部分及びその付近では、給排気筒の接続はしないでください。
- 本体から給排気筒まで延長管が3m以内、曲がり個所が3カ所以内になっていますか。
- 給排気筒トップから周囲の壁までの距離は火災予防上の所定の距離が十分ありますか。

■油タンクと本体の距離

- 油タンクは機器との間に防火上有効な壁などが無い場合2m以上離してありますか。
- 機器下面より油タンク上面まで1.5m以内、油タンク下面までマイナス1.5m以内になっていますか。
- 注意** ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。



■空気取入口、換気口

- 機器は密室に設置することなく、空気の入入口及び換気口が設けられた部屋に設置してください。

■アース

- 注意** 専用のアース(線)を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。アース(線)は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

■電源コンセントの位置

- 電源コンセントは適切な位置にありますか。

■凍結予防

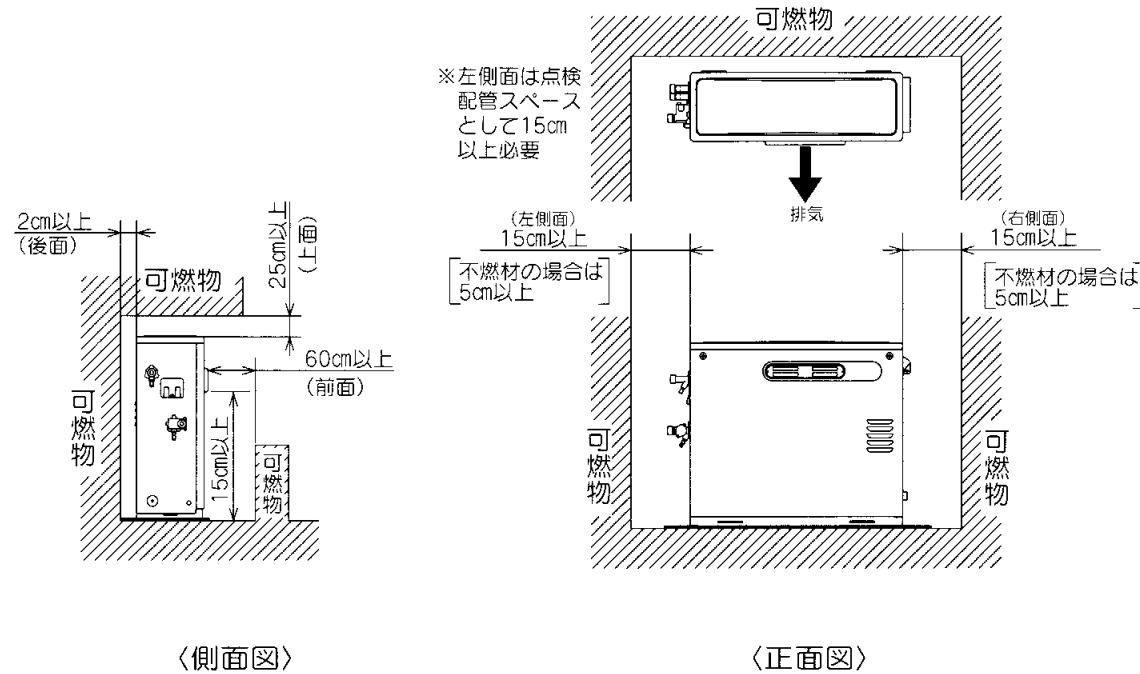
- 凍結予防を考慮した配管工事がしてありますか。

12. 据付け

据付け場所の選定及び標準据付け例

■UIB-G4010HTR(M) (MS)の標準据付け例

- 防火性能評定認定品ですので下記寸法で設置できます。



- 機器の点検・配管スペースを確保してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

⚠ 注意

●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。) 火災の原因になります。



●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



●電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり) 火災の原因になります。



●アースについて

専用のアース(線)を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。アース(線)は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。



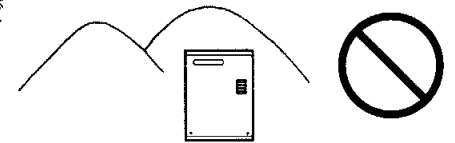
●ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。



●標高が1500mを越える高地では使用しないでください。

(空気の濃度が薄いため、燃烧に必要な空気が不足します。)

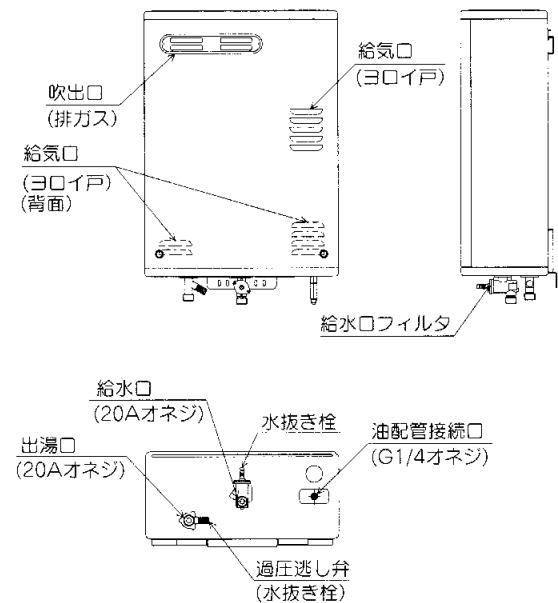


2. 各部の名称

外観図

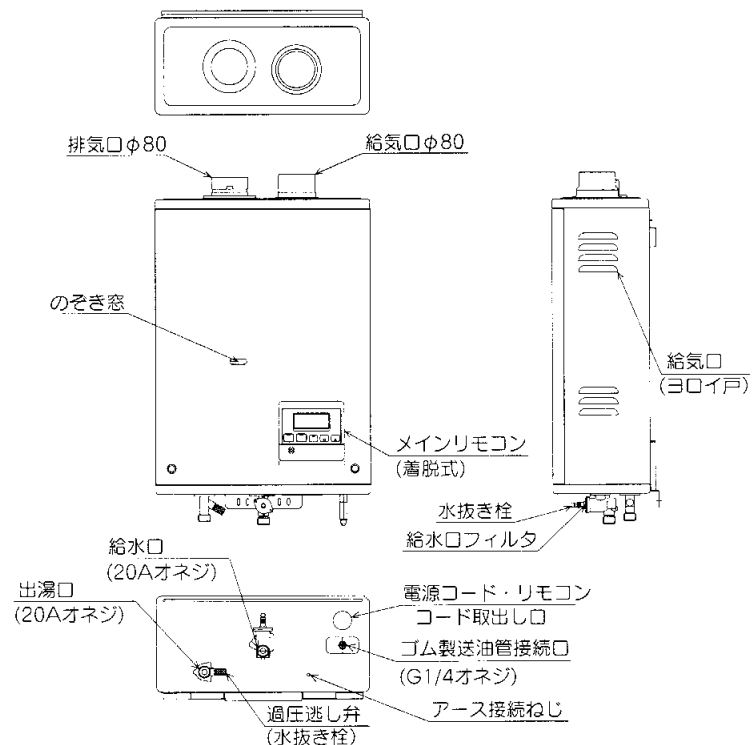
屋外用開放形

●UIB-G4010HT(MW)



屋内用密閉式強制給排気形

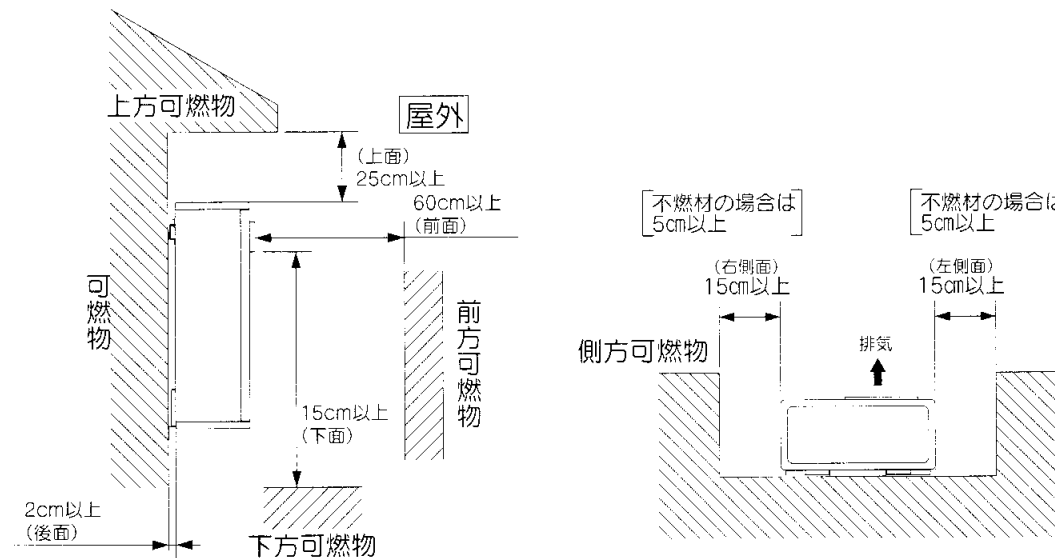
●UIB-G4010HT(FFW)



据付け場所の選定及び標準据付け例

■UIB-G4010HT(MW)の標準据付け例

- 防火性能評定認定品ですので下記寸法で設置できます。



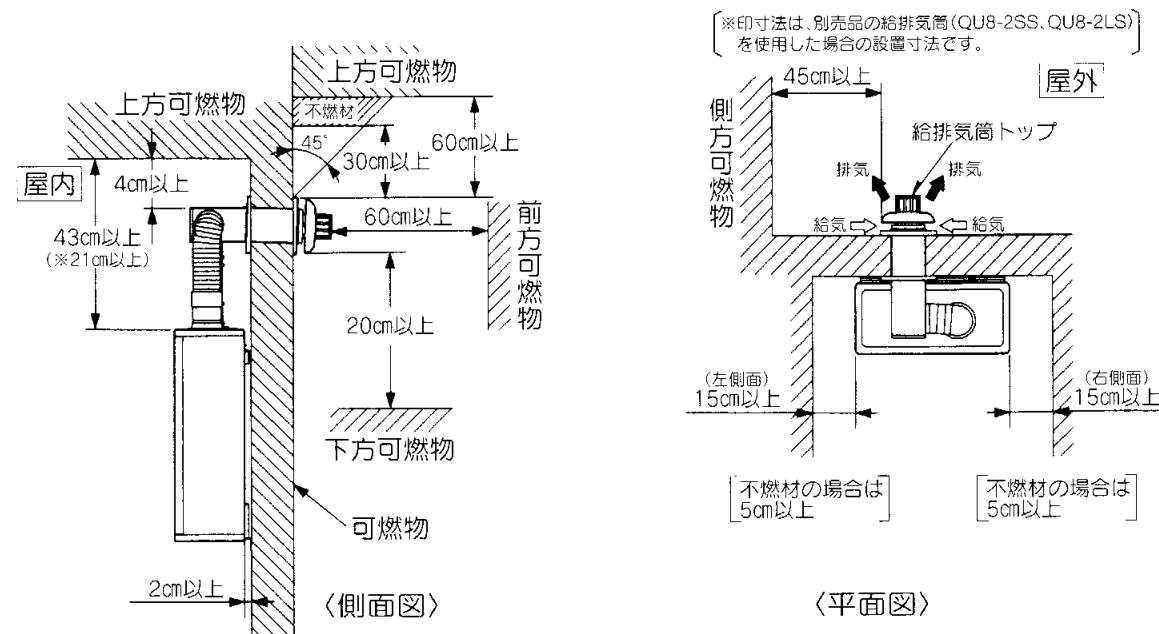
〈側面図〉

〈平面図〉

- 機器前方の点検スペースを確保してください。

■UIB-G4010HT(FFW)の標準据付け例

- 防火性能評定認定品ですので下記寸法で設置できます。



〈側面図〉

〈平面図〉

- 機器の点検スペースを確保してください。

11. アフターサービス

■保証について

- この取扱説明書の最後に保証書がついています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げいただいた日から1年間です。(BL商品は2年間です。)
- 次のような原因による故障及び、事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。(詳しくは保証書をお読みください。)
 - ・変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - ・誤った使用方法による故障や事故。
 - ・一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
 - ・凍結による事故・破損。

■修理を依頼される時

- 本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」(36ページ参照)の項にしたがって調べてよくならないときは、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店、または、裏表紙に記載されているお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間中であれば保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは

- お買い求めの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

12. 据付け

据付け場所の選定及び標準据付け例

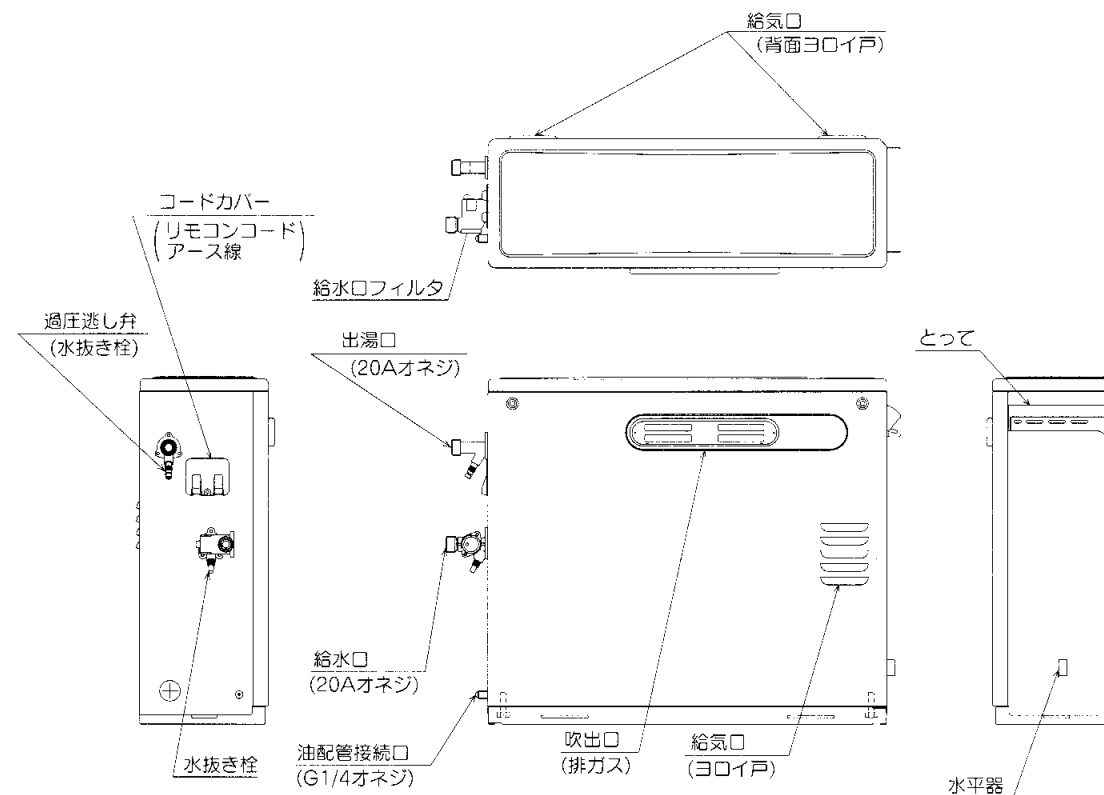
据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については41・42ページを参照してください。

- 機器を据付ける場所は、水道工事、電気工事などの付帯工事のできる場所を選んでください。また火災予防上の所定の距離、隣家への防音上の配慮が必要です。
- 適切な位置に電源コンセントがない場合あるいは容量が少ない場合には、電気配線を電力会社の指定工事店に依頼し、容量が10A以上の専用配線を必ず設けてください。
- 積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸込んで不完全燃焼を起こすことがあります。(FFW)

外観図

屋外用開放形

●UIB-G4010HTR(M)(MS)

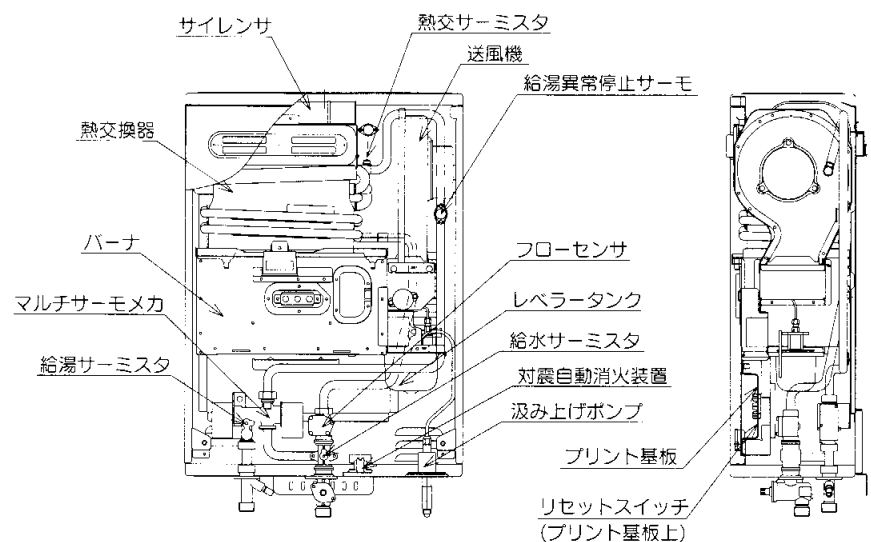


2. 各部の名称

構造図

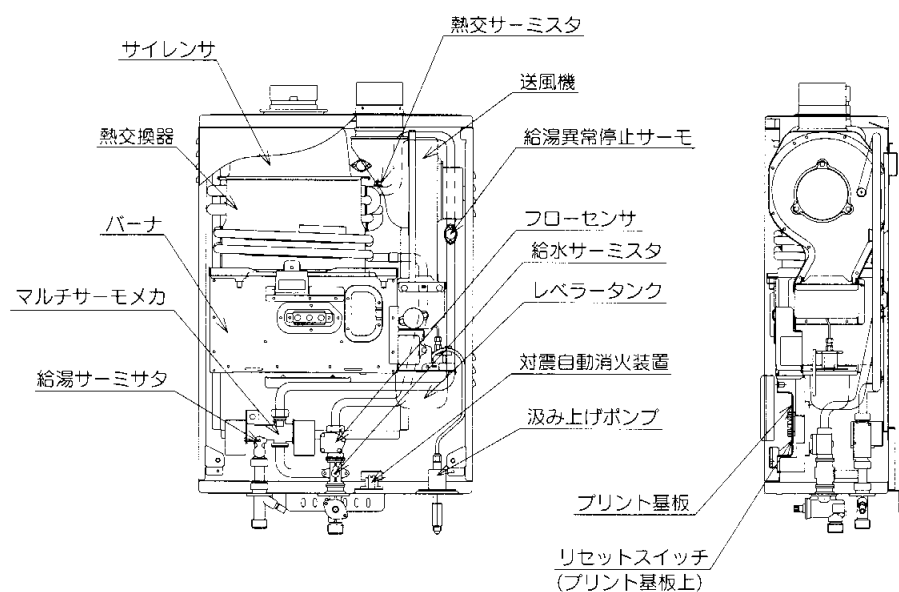
屋外用開放形

●UIB-G4010HT(MW)



屋内用密閉式強制給排気形

●UIB-G4010HT(FFW)



10. 仕様

仕様

型式の呼び		UIB-G4010HT		UIB-G4010HTR
区分記号		(FFW)	(MW)	(M) (MS)
種類	給排気方式	屋内用密閉式強制給排気形		屋外用開放形
	燃焼方式	気化式		
	加熱形態	瞬間形		
	給水方式	水道直結式		
点火方式		高電圧放電方式		
使用燃料		灯油 (JIS1号灯油)		
燃料消費量		5.4L/h		
連続給湯効率		90%		
連続給湯出力		46.5kW (40,000kcal/h)		
熱交換器容量		0.8L		
最高使用水頭圧		100m		
最高使用圧力		980kPa (10kgf/cm ²)		
伝熱面積		1.4m ²		
外形寸法		高さ 645mm、幅 470mm、奥行 210mm	高さ 570mm、幅 660mm、奥行 210mm	
質量 (重量)		23kg		27kg
電源電圧及び周波数		100V 50/60Hz		
定格消費電力	点火時	780/780W		
	燃焼時	330/330W	380/380W	
給排気筒の呼び径		D80		—
給排気筒の壁貫通部孔径		φ120mm		—
排気温度		260℃以下		
騒音レベル		50dB (室内側 大45dB 中33dB 小28dB)	49dB (中38dB 小36dB)	
電流ヒューズ		15A・6A		
温度ヒューズ		184℃		
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置		
その他の装置		漏電保護装置・送風機回転検知・油面検知・バーナハイリミット		
付属品	アース棒			
	壁掛金具		調節ボルト用金具	
	メインリモコン (本体着脱式)・操作部シール板・送油ホース (2.5m)・送油管 (ナット付)・ドレン受け・直出し又は左右出し標準給排気筒セット		・オイルフィルタ ・メインリモコン (8mコード付) ・油配管用φ8×2.5m銅パイプ	

9. 部品交換のしかた

部品交換のしかた

- 部品交換は処理がむずかしいので、お買い求めになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、(財)日本石油燃焼機器保守協会 (TEL 03-3499-2928) で行う技術管理講習会修了者 (石油機器技術管理士) などのいる販売店などに依頼してください。

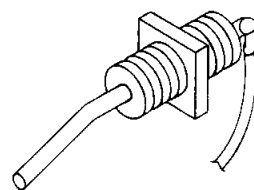
部品交換は**コロナ純正部品**とご指定ください。

■交換対象部品

- 定期的に交換が必要な部品は次のとおりです。

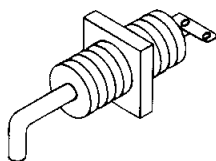
炎監視装置 (フレームロッド)

- フレームロッドが消耗してきた場合、点火不良や途中消火をおこします。



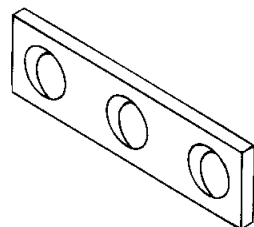
点火プラグ

- プラグ先端部が消耗したり、ススで汚れたりすると点火不良をおこします。



パッキン類 (バーナ部)

- パッキン類 (バーナ部) が劣化しますと、燃焼ガスがもれたり、燃焼不良の原因になります。(メンテナンス時分解した場合は必ず交換が必要です。)



Oリング (給水口・出湯口)

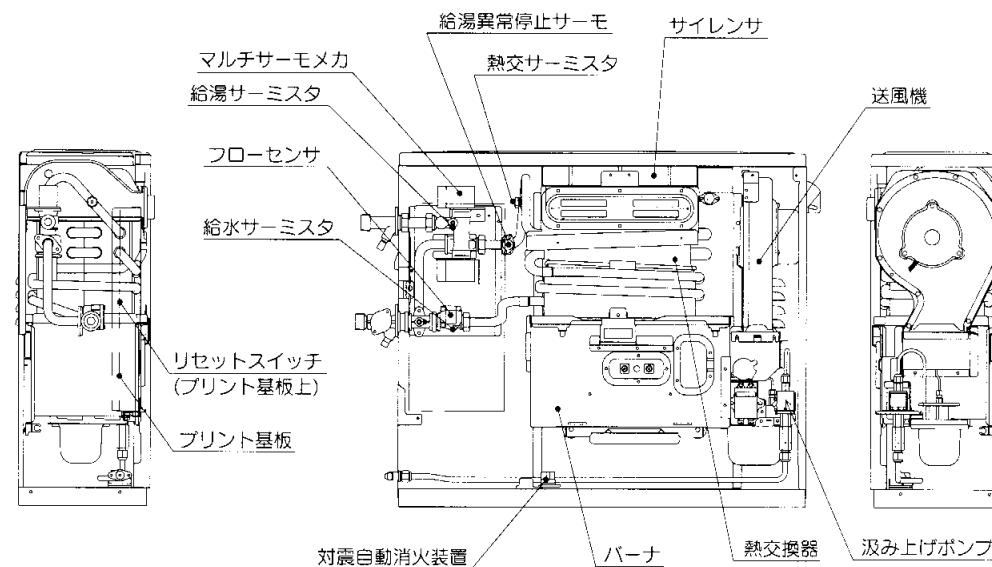
- 長期の使用により劣化しますと水漏れの原因になります。



構造図

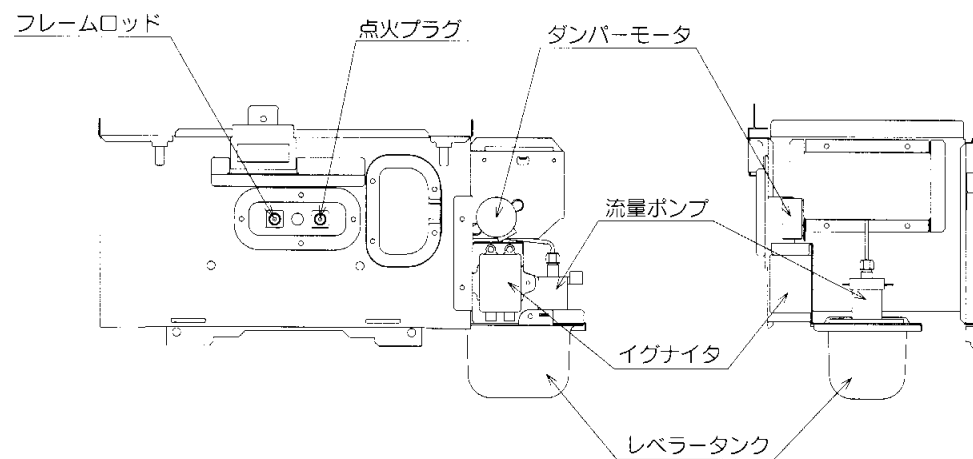
屋外用開放形

● UIB-G4010HTR(M)(MS)



バーナ

- (MW)(FFW)共通
- (M)(MS)共通



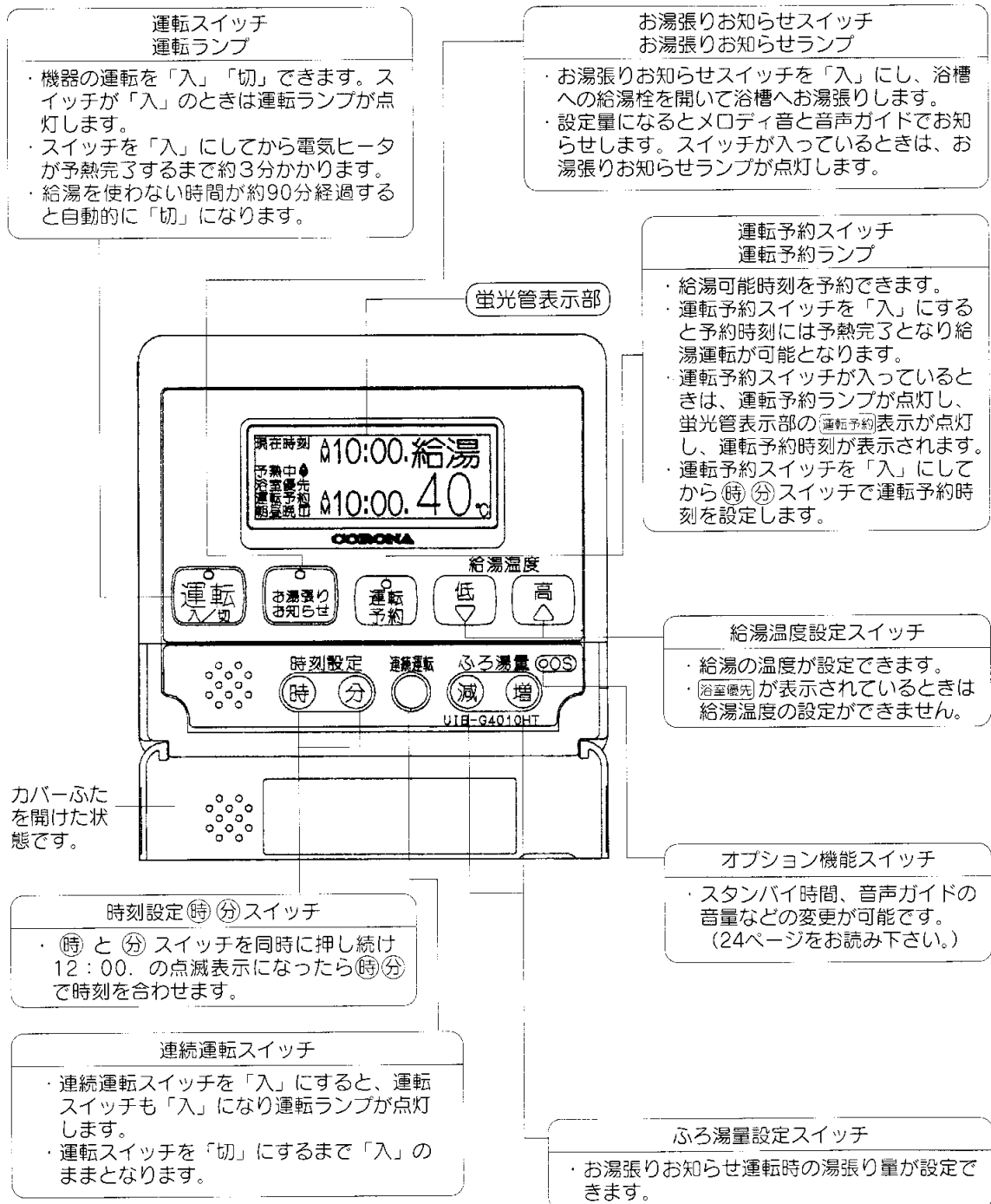
2. 各部の名称

リモコン

メインリモコン 付属

サブリモコン(RSI-G4010HT) 別売

(「運転予約」スイッチがありません。)



モニターサインによる見分け方

- ・リモコンのエラー表示の点滅によって、故障原因を判断することができます。
- ・販売店に連絡していただく際は、点滅しているエラー表示の数字をお知らせください。
- ・停電があった場合には運転ランプが点滅します。運転スイッチを入れ直すと再運転します。

エラー表示	処置方法
-------	------

■モニター表示して全停止のとき

エラー表示	処置方法
「給油」油切れ検知の作動(レベラータンク内) ※「給油」表示は点灯します	「給油」油切れの確認、他は販売店に連絡してください。
2 地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。 (対震自動消火装置の作動)	2 地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、など異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。
10 疑似火災	10
11 不着火	11
12 失火	12
14 気化器サーミスタ・ヒータの断線	14
15 気化器サーミスタの短絡または、気化器の温度異常	15
18 気化器ヒータの異常通電または、気化器ヒータの断線	18 使用を中止して販売店に連絡してください。
21 油面異常検知の作動(レベラータンク内)	21
23 送風機の回転異常	23
31 給湯サーミスタの短絡	31
32 給湯異常停止サーモの作動	32
34 熱交サーミスタの短絡	34
35 給水サーミスタの断線(運転休止)	35

■モニター表示するが給湯運転可能のとき

エラー表示	処置方法
「給油」給油検知の作動(別売品のOC-2取付時) ※「給油」表示は点滅します	「給油」油タンク内の灯油が残り少なくなりました。早めに給油してください。

8. 故障・異常の見分け方と処置方法

次の現象は故障ではありません

■給湯栓をしぼりすぎると運転しない

この機器は給湯栓を極端にしぼりすぎるとバーナが着火しないことがあります。給湯栓をもっと開いてください。

■同時給湯したときの湯温の変動

2箇所同時に給湯すると、給湯配管の方法、給湯栓の開き具合によって、それぞれの給湯栓のお湯の量が異なり、湯温が変動することがあります。特にシャワーをご使用中に他の給湯栓を同時使用しますと湯温や湯量が変わりますので、ご注意ください。

■給湯栓開閉時の湯温の変動

給湯栓を閉じて再び開いたときはぬるくなったり、熱くなったりすることがあります。

■給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない

- 機器から給湯栓まで距離がありますので、湯が出るまで少し時間がかかります。
- リモコンに「予熱中」表示が点灯している場合は消灯するまで待ってください。

■お湯の白濁

出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。水圧が高いと水に溶け込んでいた空気が分離して、細かい気泡となって出てくる現象で無害なものです。(減圧弁を使用するとなくなります。お買求めの販売店に相談してください。)

■運転中に時々「ビー」音がする

灯油を汲み上げるために、汲み上げポンプが運転している音です。

■運転中に時々「ジージー」音がする

出湯温度を安定させるために、マルチサーモメカが運転している音です。

■運転スイッチを切って、しばらくして送風機の音がする

バーナのクリーニングのために送風機が運転している音です。

■使用していないのに、たまに送風機の音がする

バーナを保温するために送風機が運転している音です。

■バーナの運転が断続

給湯量が少ないと変動幅の少ない安定した湯温で給湯するために、マイコンの制御によりバーナは着火、消火をくり返すことがあります。

■のぞき窓から黄色い炎が見える (FFW)

湯温や湯量を変えた直後、及び小火力のとき黄色い炎になることがありますが、異常ではありません。

■排気口からの白煙 (冬期)

冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変わるため排気口 (吹出口) から白煙となることがあります。

■給油後時々「給油」表示になる

油切れになると給油しても、送油経路内の空気のためにエラーの「給油」表示が点灯することがあります。このときは運転スイッチを入れ直してください。

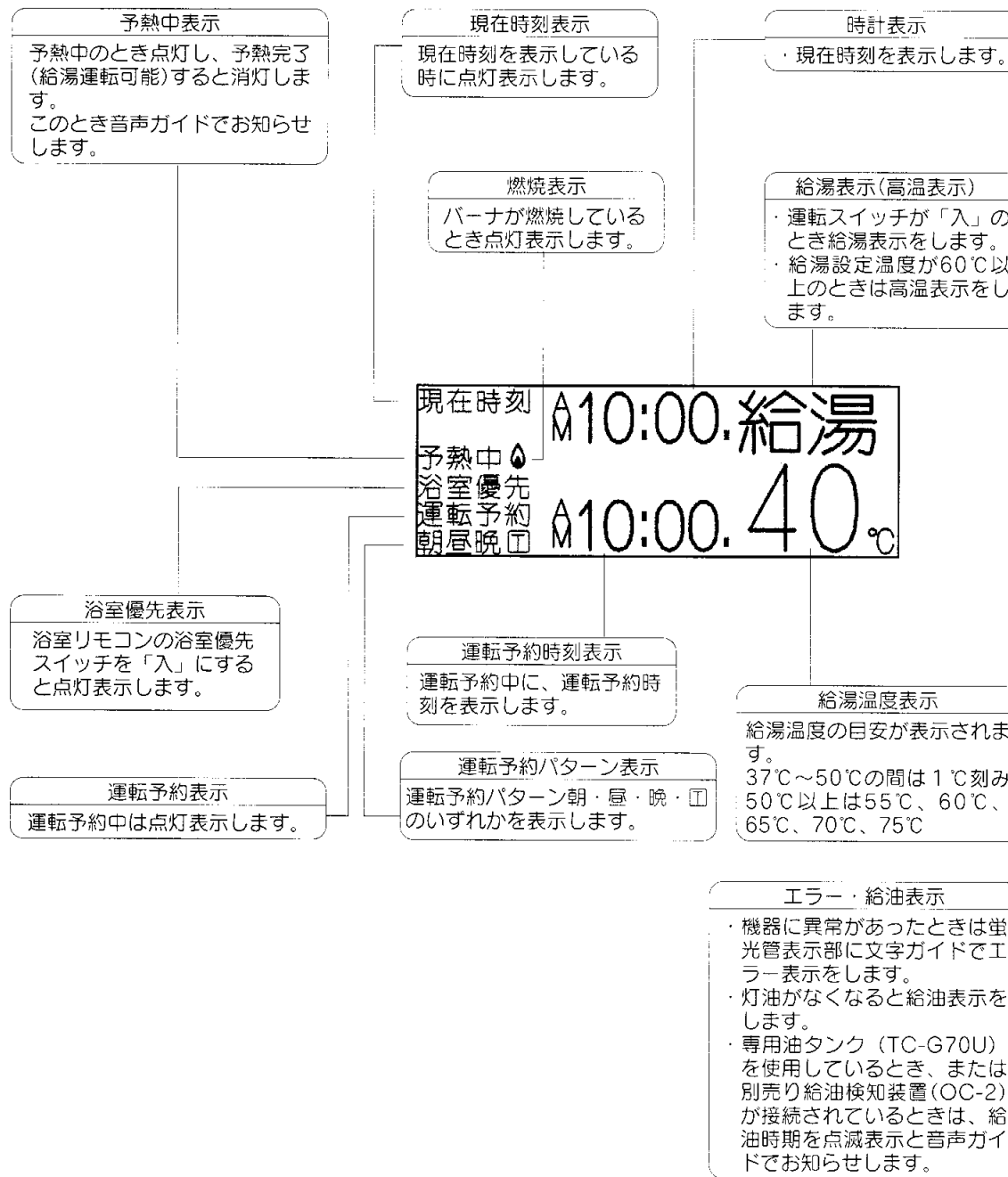
「給油」表示の解除は運転スイッチからは3回まで可能です。さらに「給油」表示の解除が必要な場合は、機器本体のプリント基板の上にあるリセットスイッチを軽く押すか、または電源プラグを電源コンセントから抜き、約5秒後差し込んでください。

■過圧逃し弁から水が出る

給湯機内の膨張水が出るものであり異常ではありません。

リモコン

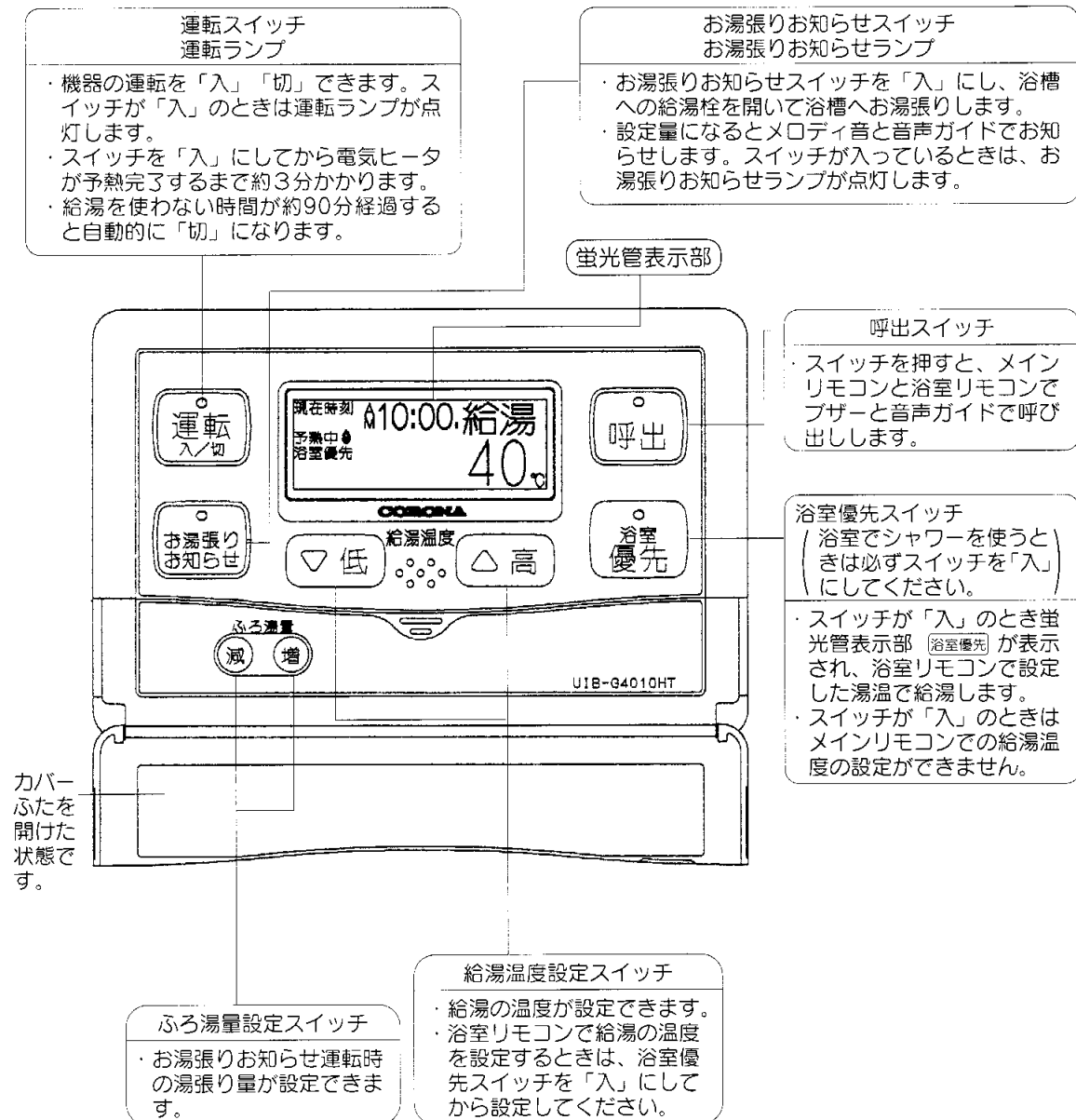
メインリモコン蛍光管表示部



2. 各部の名称

リモコン

浴室リモコン(RBI-G4010HT) 別売



8. 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- ・万一具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- ・原因のわからないときや、処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買い求めの販売店又は、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

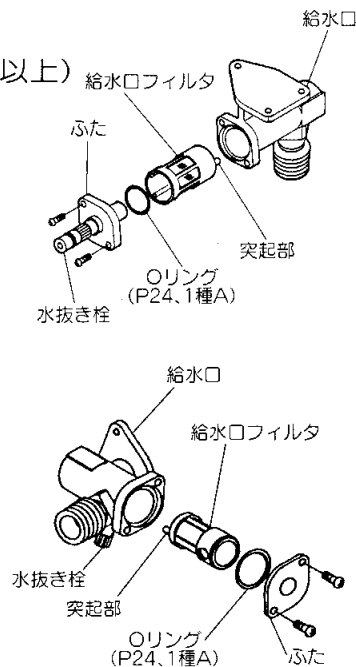
	現 象	原 因	処 置 方 法	
予熱中	運転スイッチを入れても運転ランプがつかない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。	
		電源の元スイッチが「切」になっている。(ブレーカー)	電源の元スイッチを「入」にする。	
		停電している。	通電するまで待つ。	
運転開始	運転ランプは点灯するがお湯がでてこない。(点火しない)	予熱が完了していない。	「予熱中」の表示の消灯を待つ。(約3分)	
		給水元栓・給湯栓のしぼりすぎで、給湯量が少ない。	給湯量を増やす。	
		油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開く。	
燃焼中	「給油」表示してお湯が出てこない。(点火しない)	油切れしている。	12ページの「給油」の項に従って給油し、再運転する。	
		地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。(対震自動消火装置の作動)	地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、など異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。	
燃焼中	全くお湯(水)が出ない。	給湯温度設定が適正でない。	給湯温度を再設定する。17ページと26ページをお読みください。	
		給湯温度設定が適正でない。		
		燃焼音が異常。		
		ススを出して燃える。		
		油漏れしている。		
燃焼中	給排気筒が外れている。(FFW)	水漏れしている。	販売店に連絡してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・このままご使用を続けると、修理ができなくなりますので、使用を中止し販売店にご連絡してください。 	
				アース線が切れている。
				アースがない。

7. 点検・手入れ

日常の点検・手入れ

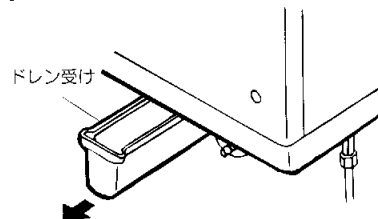
11. 給水口フィルタの掃除 (3カ月に1回以上)

- 給水口フィルタにゴミがたまっていないか確認してください。
- ① 給水元栓を閉めます。
- ② 給湯栓を開きます。
- ③ 給・出湯口の水抜き栓をゆるめて排水した後給水口フィルタをはずしゴミを洗い流してください。
- ④ 元通り組み付けるときは、給水口フィルタの突起部が給水口のガイド穴に、はまってまわらないことを確認してからOリング、ふたを組付けてください。



12. ドレン受けの水を捨ててください

- 過圧逃し弁からの膨張水を受けるためのドレン受けが取り付けられているときは、満水になる前に、手前に引いて水を捨ててください。(FFWタイプ)



定期点検

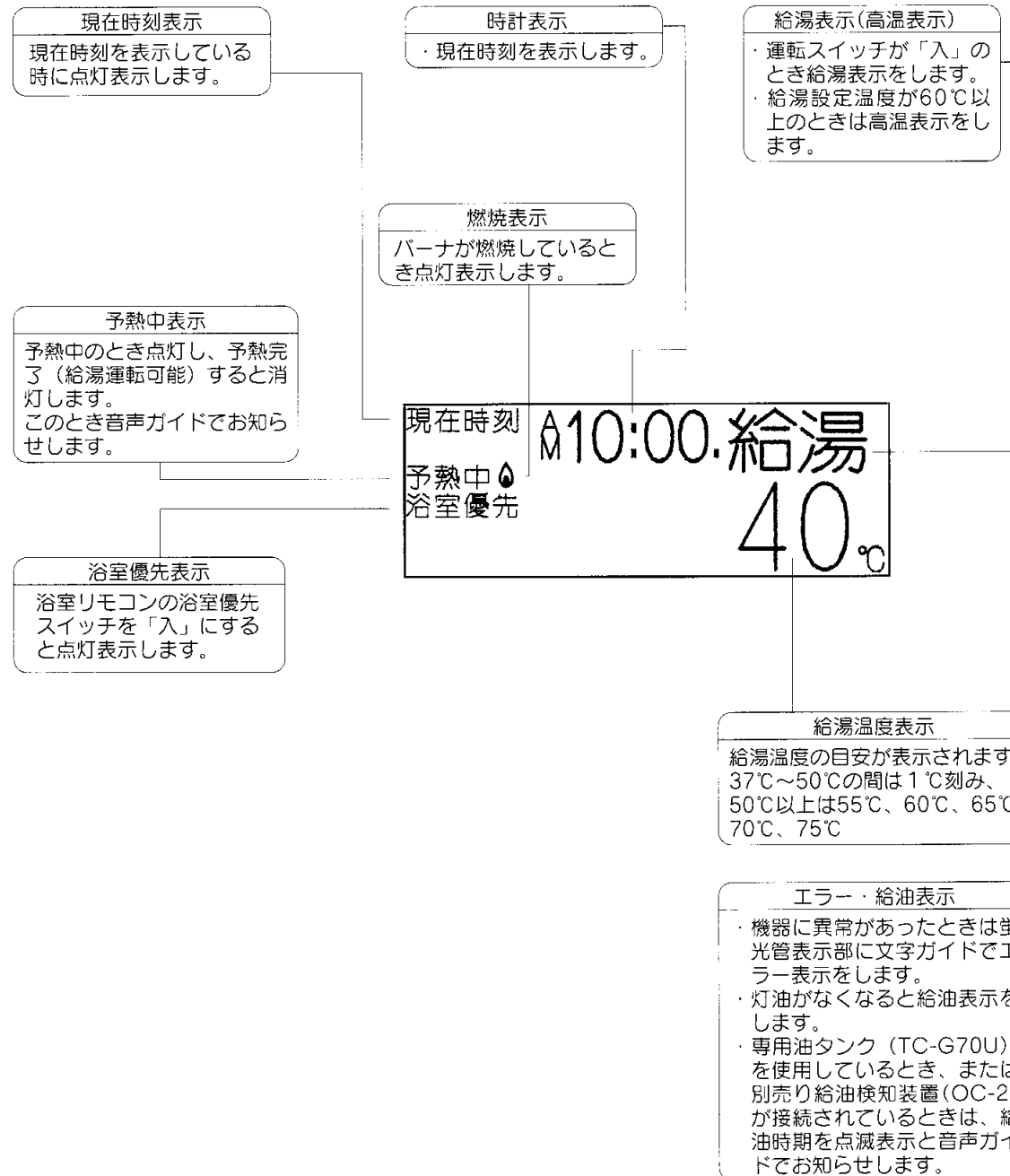
定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。

1年に1回程度、お買い上げ店又は修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会 (TEL 03-3499-2928) で行う技術管理講習会修了者 (石油機器技術管理士) など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

リモコン

浴室リモコン蛍光管表示部



3. 使用前の準備

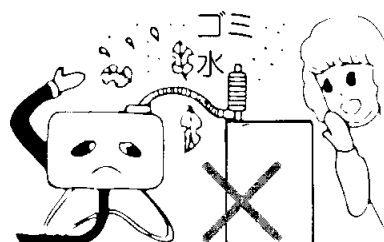
燃料

- **⚠警告** ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- 燃料は、灯油（JIS 1号灯油）を必ず使用してください。

給油

■給油の際の注意

- 給油の際に、水、ゴミなどを入れないように特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。



■給油口ふたは、確実に締めてください。

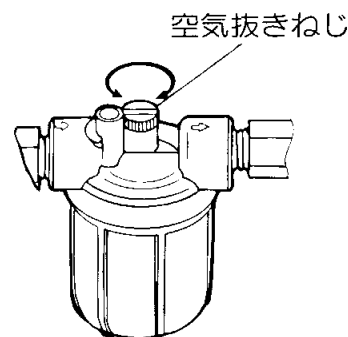
■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- 油タンクを空にしないように注意してください。
- 油タンクが空になり給油したときは空気抜きが必要となります。

空気抜きの方法

- 油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの空気抜きねじをゆるめて送油経路内の空気を抜きます。
- オイルフィルタのカップ内に灯油を満たして、空気抜きねじを元通り締め付けてください。



● 油切れになると給油しても、送油経路内の空気のためにエラーの「給油」表示が点灯することがあります。このときは運転スイッチを入れ直してください。

「給油」表示の解除は運転スイッチからは3回まで可能です。さらに「給油」表示の解除が必要な場合は、機器本体のプリント基板の上にあるリセットスイッチを軽く押すか、または電源プラグを電源コンセントから抜き、約5秒後差し込んでください。

日常の点検・手入れ

6. 給排気筒の接続部のゆるみ及びトップの周囲（FFW-日常）

- **⚠警告** 給排気筒（管、ホース）が正しく接続されているか点検してください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- **⚠警告** 積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。

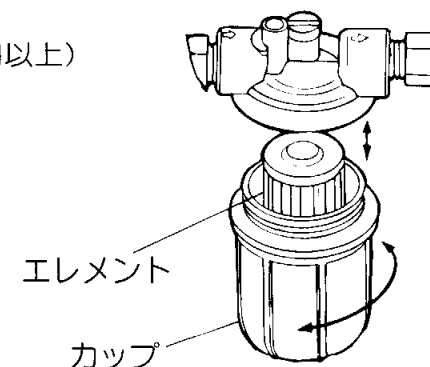
7. 水漏れ（日常）

- 機器本体及び配管・継手部から水漏れがないか、確認してください。

8. オイルフィルタの掃除（3カ月に1回以上）

オイルフィルタ内に、ゴミや水がたまっていないか確認してください。

- ① 油タンクの送油バルブを締めてください。カップをまわしてはずし、カップの中のゴミや水を捨ててください。
- ② エレメントは引き抜いて灯油できれいに洗ってください。
- ③ エレメントとカップを元通りに取り付けて、油タンクの送油バルブを開けてください。カップ部より油漏れのないことを確認してください。



9. のぞき窓の掃除（FFW-3カ月に1回以上）

- のぞき窓の汚れは乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめて含ませ軽く絞ってふいてください。洗剤使用後は、水道水を布に含ませ固く絞ってから洗剤をふきとってください。

10. アース（日常）

- アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

7. 点検・手入れ

日常の点検・手入れ

■点検、手入れのときの注意

- メインリモコンの運転スイッチを「切」にして、機器が冷えてから行ってください。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。

■点検、手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- △注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、又機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。
油漏れのあるときは、使用を中止してお買い求めの販売店に連絡してください。

4. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- △注意** ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認し、欠点のあるときは交換してください。交換の目安は、3年に一度です。

5. 油タンク（水抜きを含む。）（1カ月に1回以上）

- 油タンク内には、水・ゴミがたまりやすく、多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

運転開始前の準備と確認

■給水及び水漏れの確認

- 給湯栓から水を出してみ、熱交換器内に水の入っていることを確認してください。

■送油経路の油漏れの確認

◇注意

- 油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないかどうか確認してください。火災のおそれがあります。

■電気配線の確認

- △注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。
- 電源は必ず適正配線された单相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

■機器の周囲確認

△注意

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。
- 機器や排気口（吹出口）を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。（MW・M・MS）

■給排気筒の周囲確認（屋内設置機器）

△警告

- 給排気筒（管、ホース）が正しく接続されているか点検してください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 積雪が多いときには、給排気筒トップの周りが雪でふさがれていないことを確認してください。ふさがれているときは、除雪してください。運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

4. 使用方法

はじめてお使いになる場合

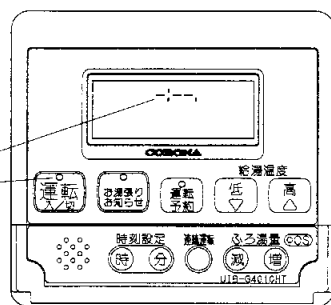
●工場出荷時の初期設定は下記のとおりです。設置後や30分以上の停電がありますと初期設定状態となりますので設定しなおしてください。

項目	初期設定	設定方法参照ページ
現在時刻	- : - - .	14ページ
給湯温度調節	40℃	15ページ
運転予約	朝 AM 6 : 00	22ページ
	昼 - : - - .	
	晩 PM 6 : 00	
	□ - : - - .	
湯張り量の設定	200L	20ページ

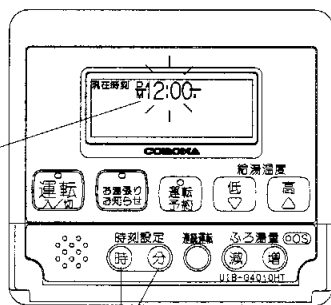
■現在時刻合わせ

●現在時刻合わせはメインリモコンで行います。

設置後や長時間の停電後は運転ランプが点滅し、時計表示がバー表示になっています。



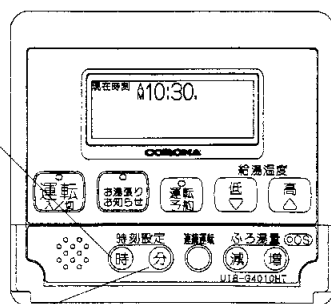
- ① 時と分を同時に5秒間押し続けます。(発信音 **ピッ**)
- 時計表示部が現在時刻 12:00 の点滅表示になります。
- 音声ガイド「時と分を合わせてください」



- ②時を 時 で合わせます。(発信音 **ピッ**)

- ③分を 分 で合わせます。(発信音 **ピッ**)

- ④点滅していますが、約5秒後に点灯表示になり現在時刻合わせが完了します。(発信音 **ピッ**)



5. 安全装置

対震自動消火装置

地震（震度約5以上）や強い振動、衝撃を受けた場合、自動的に消火します。
モニター表示：2

- 地震によって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れ、など異常がないことを確認してから運転スイッチを一度「切」にしたあと、再度「入」にしてください。

燃焼制御装置

点火不良、燃焼不良、油切れなどのとき、これを検知して、バーナの運転を停止します。
油切れのときのモニター表示：「給油」

- 油切れのときは12ページの「給油」の項に従って給油します。
- それ以外の場合は運転スイッチを「切」にして、お買い求めの販売店に連絡してください。

停電安全装置

停電や電源プラグが抜けたとき、運転を停止します。

- 停電復帰後は、運転を開始します。使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。
- 長い停電の時は、停電復帰後に給湯ランプが点滅します。このときは運転スイッチを「入」にしてください。初期設定になりますので再設定してください。(14ページの「はじめてお使いになる場合」の項をお読みください)

6. その他の装置

その他の装置が作動したときは使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 漏電保護装置 | ●異常が発生して漏電したとき、運転を自動的に停止します。 |
| 送風機回転検知 | ●送風機の回転に異常があったとき、運転を自動的に停止します。 |
| 油面検知 | ●万レベラータンクの油面が異常に上昇したとき、運転を自動的に停止します。 |
| バーナハイリミット | ●万バーナの温度が異常に上昇したとき、運転を自動的に停止します。 |

4. 使用方法

使用上の注意

■やけどに注意

- **△注意** 燃焼中や消火直後は、高温部、排気筒、枠上部に手などふれないように注意してください。やけどのおそれがあります。

■シャワーについて

- **△注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。

■みだりに飲用に用いないでください。

- 使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより、水質が変わることがあります。なお、熱交換器や配管内にたまっていた水は飲用又は調理に用いないでください。

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、次の処置をしてください。

- 水抜きを行ってください。(29ページの(水抜きによる方法)をお読みください。)
- 油タンクの送油バルブを締めてください。
- 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

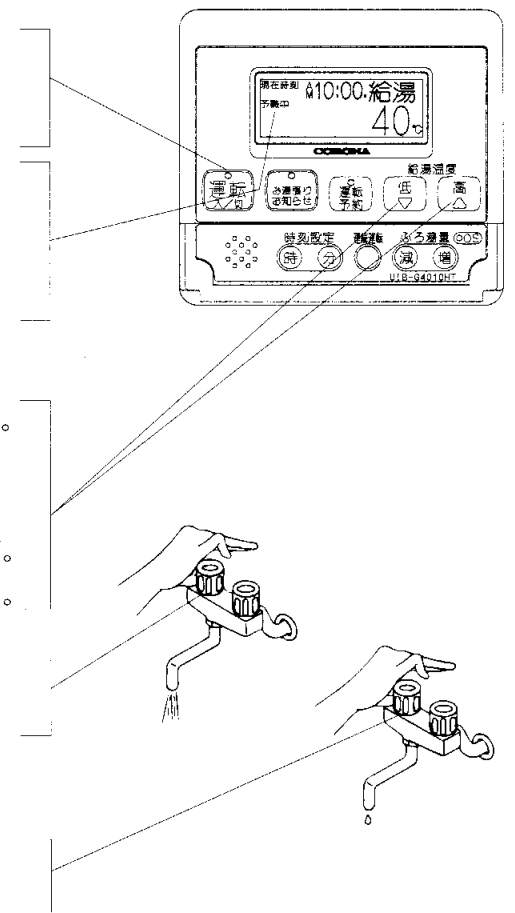
使用方法

- この給湯機は灯油をガス化するのに電気ヒータを用いています。運転スイッチを「入」にしてから約3分間のヒータ予熱時間を経て、給湯およびふろ運転可能となります。(予熱中は燃焼しないため水は出ますがお湯になりません。)
- すぐに給湯するために給湯やおふろを使用する時間帯は、運転スイッチ **運転** を「入」のままお使いください。
- 運転スイッチは給湯を使わない時間が約90分経過すると自動的に「切」になります。

■運転方法

- ① **運転** を押して「入」にします。
 - 運転ランプが点灯します。(発信音 **ピッ**)
 - 予熱を開始し、「予熱中」表示が点灯します。予熱が完了すると「予熱中」表示は消灯します。(発信音 **ピピッ** を3回くり返す。)
 - 音声ガイド「給湯できます」
- ② **低** **高** を押してお好みの温度にします。(発信音 **ピッ**)
 - 音声ガイド「給湯温度が変更されました」
 - 37~50℃ 1℃刻みで設定できます。
 - 50~75℃ 5℃刻みで設定できます。
- ③ 給湯栓を開くと自動的に点火します。
 - 燃焼を開始し **炎** 表示が点灯します。

使いはじめは配管内の水が出ますので、お湯になるまでしばらく時間がかかります。
- ④ 給湯栓を閉じると自動的に消火します。
 - 燃焼が停止し **炎** 表示が消灯します。

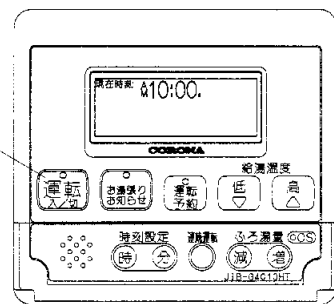


4. 使用方法

使用方法

■運転停止

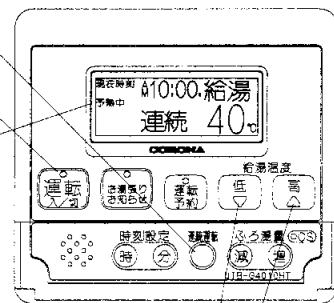
- お湯を長時間使用しないときや、外出するとき **運転** を押して「切」にしてください。
- 運転ランプが消灯します。
(発信音 **ピピッ**)



■連続運転スイッチ

運転スイッチは給湯を使わない時間が約90分経過すると自動的に「切」になります。約90分以上継続して使用するとき、連続運転スイッチ **連続運転** 「入」にしてください。連続運転スイッチ **連続運転** は自動的に「切」になりません。

- ① **連続運転** を押して「入」にします。
 - 運転ランプが点灯し「連続」表示します。(発信音 **ピッ**)
 - 予熱を開始し、「予熱中」表示が点灯します。予熱が完了すると「予熱中」表示は消灯します。(発信音 **ピピッ** を3回くり返す。)
 - 音声ガイド「給湯できます」
- ② **送湯** **設定** を押してお好みの温度にします。(発信音 **ピッ**)
 - 音声ガイド「給湯温度が変更されました」
 - 37～50℃ 1℃刻みで設定できます。
 - 50～75℃ 5℃刻みで設定できます。



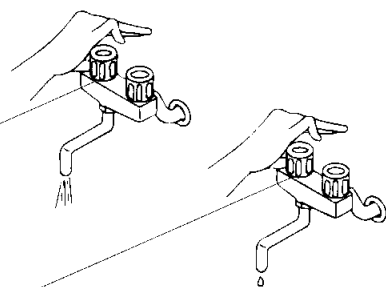
- ③給湯栓を開くと自動的に点火します。

- 燃焼を開始し **炎** 表示が点灯します。

使いはじめは配管内の水が出ますので、お湯になるまでしばらく時間がかかります。

- ④給湯栓を閉じると自動的に消火します。

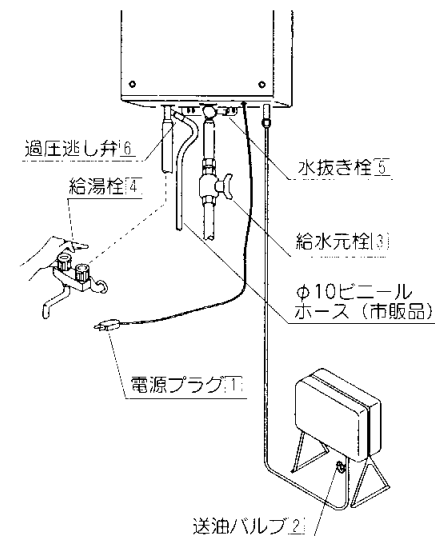
- 燃焼が停止し **炎** 表示が消灯します。



凍結予防

水抜きによる方法 (異常寒波などのとき・長期不在のとき)

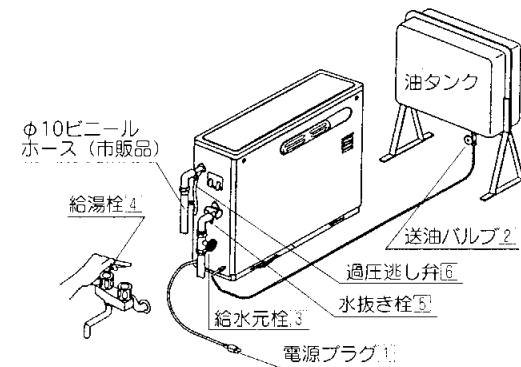
- 給湯運転直後は熱交換器内のお湯が高温になっていますので、冷えてから行ってください。やけどのおそれがあります。
- ①メインリモコンの運転スイッチを「切」にします。
- ②電源プラグ①をコンセントから抜きます。
- ③油タンクの送油バルブ②を閉めます。
- ④給水元栓③を閉めます。
- ⑤全ての給湯栓④を開きます。
- ⑥過圧逃し弁⑥をはずします。(はずした部品はなくさないでください。)
- ⑦水抜き栓⑤をゆるめます。
 - 過圧逃し弁⑥及び水抜き栓⑤より排水されるため設置場所によっては2ℓ程度の容器で受けてください。



長期不在のときは過圧逃し弁⑥と水抜き栓⑤をはずします。

●水抜き後再使用するとき

- ①全ての給湯栓④を閉めます。
- ②はずした過圧逃し弁⑥は、元通り確実に取り付けてください。
- ③水抜き栓⑤を閉めます。
- ④給水元栓③を開き、全ての給湯栓④から水の出ることを確認します。
- ⑤油タンクの送油バルブ②を開きます。
- ⑥電源プラグ①をコンセントに差し込みます。
- ⑦運転スイッチを「入」にします。「予熱中」表示が点灯しない場合は、給湯栓④を開いて水を流し「予熱中」表示が点灯したら閉めてください。



過圧逃し弁⑥と水抜き栓⑤をはずした場合、凍っているときは出湯口、給水口にお湯をかけてから元通り確実に取り付けてください。

- 電源プラグを抜いたことで初期設定になっています。設定をなおしてください。(14ページの「はじめてお使いになる場合」をお読みください。)

凍結したときのご注意

- 給湯栓からの水の出の悪いときや水の出ないときは、凍結していますので運転しないで溶けるのを待って水の流れが正常になってから運転してください。

4. 使用方法

凍結予防

- 冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。このような事故を予防するため、次のような処置をお取りください。
- 凍結による故障・破損の修理は有料となります。

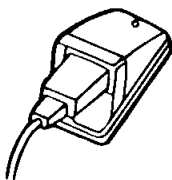
凍結予防ヒータによる方法 (通常のと看)

- この機器には、外気温が下がってくると運転スイッチの「入」「切」に関係なく自動的に機器内を保温するヒータを組み込んでいます。

で注意

- 機器の電源プラグが抜けていると、ヒータは働きませんのでご注意ください。

電源プラグは
抜かない

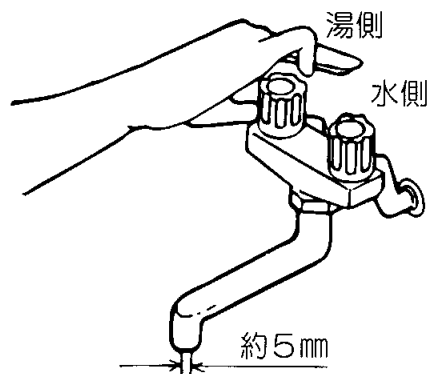


- この方法は、熱交換器の凍結は予防できますが、機外の給水・給湯配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材や、ヒータで保温してください。

通水による方法 (異常寒波などのとき)

- この場合は機器本体だけでなく、給水・給湯配管・バルブ類の凍結予防もできます。

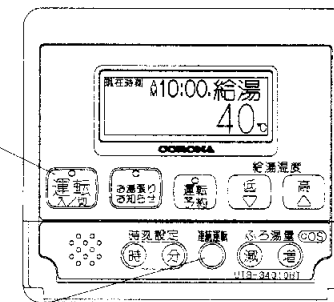
- ①メインリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- ②給湯栓から1分間に400cc(給湯栓からの水の太さ約5mm)の水をだしてください。
(流量が不安定なことがありますので念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。)



使用方法

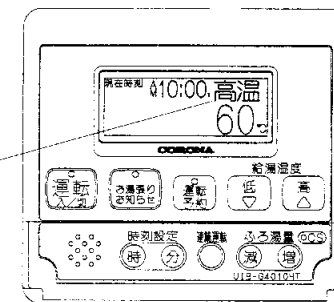
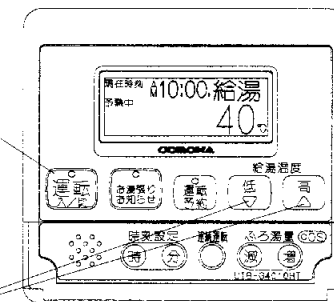
■連続運転スイッチの停止

- 運転** を押して「切」にすると **連続運転** も「切」になります。
(発信音 **ピピッ**)
全ての運転は停止します。
- **連続運転** を押して「切」にすると連続運転は停止しますが、運転スイッチは「入」のままです。
(発信音 **ピピッ**)
 - 連続運転スイッチを「切」にしてから運転スイッチは給湯を使わない時間が約90分経過すると自動的に「切」になります。



■給湯温度調節の方法

- メインリモコン
 - ① **運転** を押して「入」にします。
または **連続運転** を押して「入」にします。
(発信音 **ピッ**)
 - ② **低** **高** を押して好みの温度にします。
(発信音 **ピッ**)
 - 音声ガイド「給湯温度が変更されました」
 - 37~50℃ 1℃刻みで設定できます。
 - 50~75℃ 5℃刻みで設定できます。
- 温度設定が低いとき(49℃以下)
高 を3秒間押し続けることにより、50℃に変更されます。
また、設定温度が高いとき(41℃以上)
低 を3秒間押し続けることにより、40℃に変更されます。
- 60℃以上に設定したときは「高温」表示が3回点滅後点灯します。
- 音声ガイド「あついお湯が出ます」



4. 使用方法

使用方法

- 浴槽へ早く湯張りするには「高温」(60℃から75℃)に合わせ、混合水栓で水をまぜて適温にして湯張りしてください。
- サーモ付混合水栓でお湯を使用する場合、リモコンの給湯温度設定は、75℃にし、サーモ付混合水栓を使用したい温度に設定します。
- 表示する温度と給湯温度は、配管長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- リモコンの運転スイッチを「切」の状態に通水しないでください。機内に結露水が発生し故障の原因になることがあります。

より静かにお使いいただくために

- 給湯量に応じて変化する能力比例燃焼を行いますので中～低能力ではいっそう静音で快適に使用できます。深夜など騒音が気になる場合は給湯栓を少し絞りますと運転音が静かになり近所に気がねなく使用できます。

使用方法

- メインリモコンで給湯温度調節をする場合

- ①「浴室優先」表示が消灯していることを確認してください。

お願い

- 浴室リモコンの「浴室優先」を「切」にしないとメインリモコンでの給湯温度設定はできません。
- これはシャワー使用中に他の人がメインリモコンで給湯温度を変えるとやけどのおそれがあるためです。やけど予防のためシャワー使用中は必ず「浴室優先」を「入」にしてください。

- ②「低」(▽)「高」(△)を押して好みの温度にします。

■呼出しスイッチについて

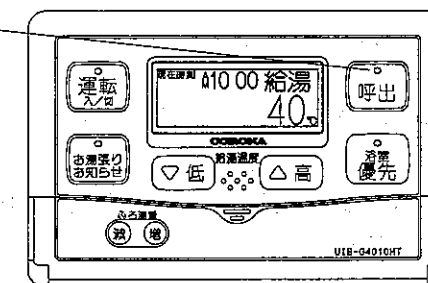
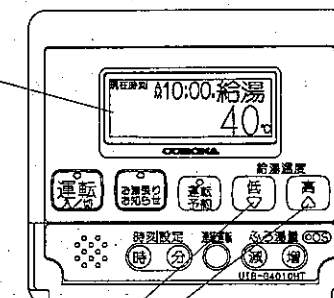
- お風呂から赤ちゃんの湯上がりなどを知らせることができます。

- ①浴室リモコンの呼出しスイッチ「呼出」を押します。

1. 呼出ランプが点灯します。

- 発信音「ピピピッ」を5回くり返した後、「音声ガイド」「お風呂で呼んでいます」

2. 呼出ランプが消灯します。



(別売) サブリモコンを増設した場合 (RSI-G4010HT)

- サブリモコンの機能はメインリモコンと同じです。(運転予約スイッチはありません。)

■運転方法

- メインリモコン、サブリモコンのどちらでも給湯運転と運転停止ができます。

■給湯温度調節の方法

- メインリモコン、サブリモコンのどちらからでも給湯温度設定ができます。給湯される湯温は後から設定した湯温になります。

4. 使用方法

使用方法

(別売) 浴室リモコンを増設した場合 (RBI-G4010HT)

■運転方法

- メインリモコン、浴室リモコンどちらでも給湯運転と運転停止ができます。

①メインリモコン、浴室リモコンのどちらかの **運転** を押すと「入」になり、予熱が完了すると給湯できます。

② **運転** が「入」のとき、メインリモコン、浴室リモコンのどちらかの **運転** を押すと「切」になり運転を停止します。

■給湯温度調節の方法

- 浴室リモコンで給湯温度を設定する場合

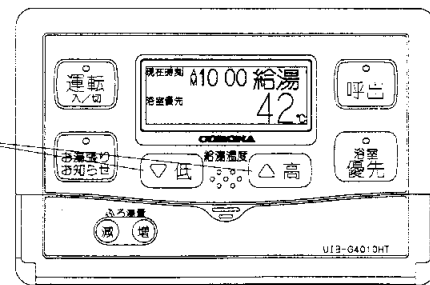
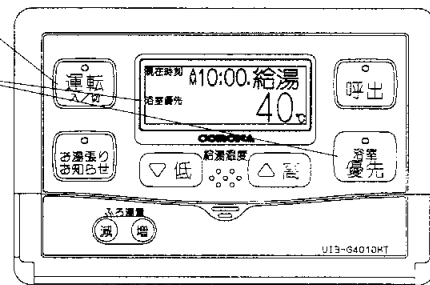
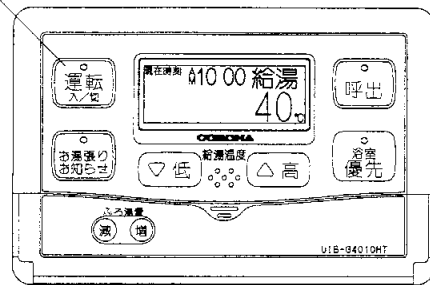
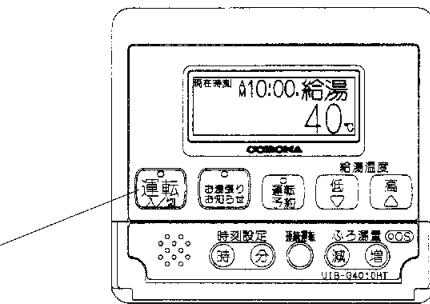
① **運転** を押して「入」にします。

② **浴室優先** を押して「入」にします。
●「浴室優先」表示が点灯します。

お願い

- 浴室リモコンで給湯温度を設定するには **浴室優先** を「入」にしてからでないと温度設定ができません。
- シャワーを使用するときには必ず **浴室優先** を「入」にしてください。

③ **▽低** **△高** を押してお好みの温度にします。



使用方法

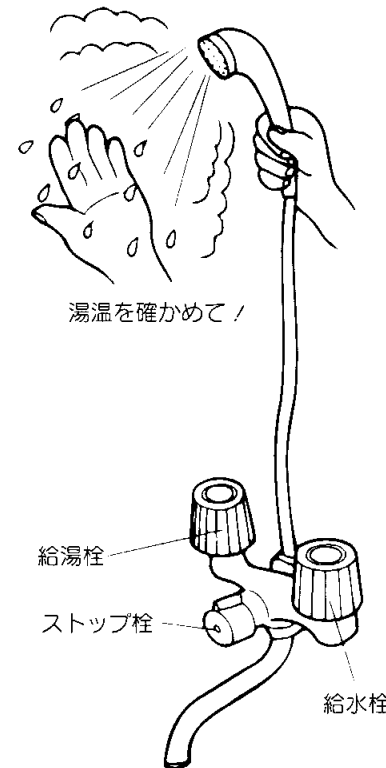
■シャワーの使い方

シャワーは次のいずれかの方法でお使いいただくことをおすすめします。

- サーモ付混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定は75℃にし、サーモ付混合水栓を40℃前後のシャワーの適温に合わせてお使いください。
- 下図のような2ハンドル混合水栓のときは、リモコンの給湯温度設定を75℃にし、混合水栓の給水栓を少し開いてから給湯栓を少しずつ開き適温にしてお使いください。
シャワー使用后、再使用するときは、はじめ給湯量を少し絞りぎみにし、湯温が安定したらゆっくりと給湯量を増やしてください。

ご注意

- **注意** シャワーを使用する場合、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけどのおそれがあります。
- シャワー使用中に、他の人は温度設定を変えないでください。シャワーの湯温が変わりやけどのおそれがあります。
- 他の給湯栓、給水栓が同時使用された場合は、一瞬熱い湯や、ぬるめのお湯が出たりすることがありますので必ず湯温を確認してから使用してください。
- シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯や、ぬるめのお湯が出ることがありますのでご注意ください。



■給湯量と給湯温度の早見表

給湯温度	水温	給湯量 (ℓ/分、計算値)		
		5℃(冬)	15℃(春・秋)	25℃(夏)
40℃		19	(27)	(44)
50℃		15	19	(27)
60℃		12	15	19

- () 内数値は湯水を混合した場合の給湯量の計算値です。
- 配管や給湯栓により給湯量は異なりますので目安としてください。
- 給湯温度は給湯機の出口温度ですので給湯栓からの温度とは必ずしも一致しません。目安としてください。

4. 使用方法

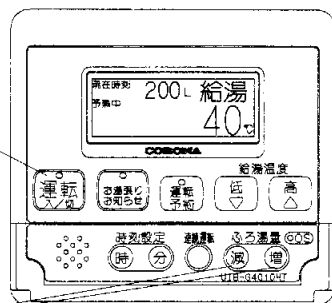
使用方法

■お湯張りお知らせ運転

- 浴槽への湯張り量を設定すれば、以後、浴槽への湯張り量が設定量になるとメインリモコンのメロディ音と音声でお知らせします。給湯栓の閉め忘れ防止の目安としてお使いください。(お湯は自動的に止まりません。)
- お買いいただいたときは、お風呂のお湯張り量は200Lに設定されていますが浴槽の大きさに合わせたご希望のお湯張り量に設定できます。

お湯張り量の設定方法

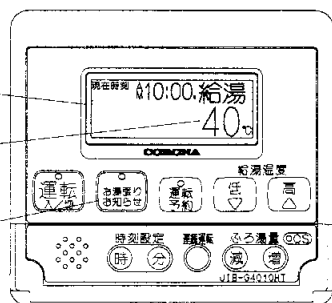
- ① **運転** を押して「入」にします。
 - 運転ランプが点灯します。(発信音 **ピッ**)
- ② 風呂湯量設定スイッチ **減** **増** を続けて押して、希望のお湯張り量を設定します。
 - 風呂湯量は10L~990L設定できます。
- ③ 風呂湯量設定スイッチ **減** **増** を押してから5秒経過後、お湯張り量が確定します。
 - 音声ガイド「風呂湯量が変更されました」



お願い 30分以上の停電になると時計表示がバー表示となっています。このときはお湯張り量は初期設定の200Lになります。設定しなおしてください。

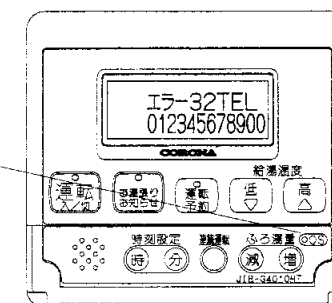
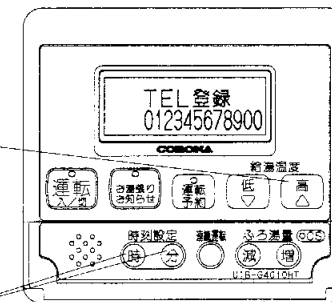
お湯張りお知らせ運転の使用方法

- ① **運転** が「入」で「予熱中」表示が消灯していることを確認してください。浴槽への給湯温度を確認します。
- ② **お湯張りお知らせ** を押して「入」にします。
 - お湯張りお知らせランプが点灯します。(発信音 **ピッ**)
 - 音声ガイド「蛇口を開けてください」



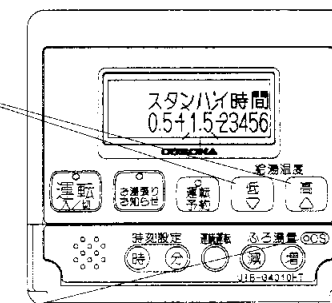
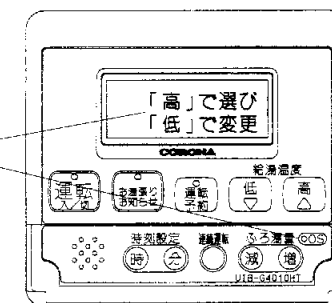
使用方法

- 「オプションスイッチ」の次に **「高」で選び「低」で変更** と表示が点灯します。
- ② 給湯温度 **高** スイッチを1回押して **TEL登録** の表示にします。
- ③ 時刻設定 **時** スイッチを押して点滅しているバー表示の数字を希望の数字に合わせます。
- ④ 時刻設定の **分** を押して数字を確定します。
- ⑤ 以下同様に時刻設定 **時** **分** スイッチで電話番号を登録します。
- ⑥ **00S** スイッチを押して電話番号の登録を終了します。
 - 故障時にはエラーNo.表示と共に連絡先の電話番号が表示されます。



●No.2~9の方法

- ① **運転** スイッチが「切」の状態メインリモコンの **00S** スイッチをボールペンの先の様なもので押して「入」にします。(針の様な先の鋭いものは使用しないでください。)
- 「オプションスイッチ」の次に **「高」で選び「低」で変更** と表示が点灯します。
- ② 給湯温度 **高** スイッチを押すごとに表示内容が前記の1~9の順番で切替ります。変更する項目を表示してください。
- ③ 給湯温度 **低** スイッチを押すと点滅しているデータが右へ移動し、設定したいデータを選びます。
- ④ **00S** スイッチを押して変更を終了します。



4. 使用方法

使用方法

■オプションスイッチ

オプションスイッチ機能で、故障時の連絡先の電話番号の登録や、リモコンの音量、明るさ、スタンバイ時間などが変更できます。

- オプションスイッチには9種類の機能があります。

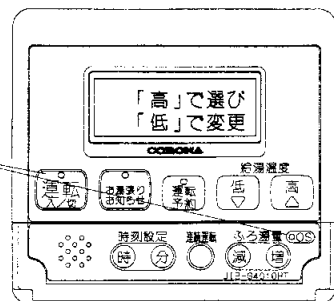
No.	表示	内容	初期設定	データ
1	TEL登録	異常時、問い合わせ先の電話番号登録	—	時刻設定「時」「分」スイッチで番号を登録しま
2	スタンバイ時間	スタンバイ（待機）継続時間の変更	1.5時間	0.5・1・1.5・2・3・4・5・6（時間）
3	メイン音量	メインリモコンの音量変更	中	無・小・中・大
4	浴室音量	浴室リモコンの音量変更	中	無・小・中・大
5	サブ音量	サブリモコンの音量変更	中	無・小・中・大
6	リモコン操作音	リモコン操作音有無の変更	有り	有り・無し
7	メイン輝度量	メインリモコン蛍光表示管の輝度量変更	明	暗・明
8	浴室輝度量	浴室リモコン蛍光表示管の輝度量変更	明	暗・明
9	サブ輝度量	サブリモコン蛍光表示管の輝度量変更	明	暗・明

- No.4とNo.8は（別売）浴室リモコン増設時のみ表示します。
- No.5とNo.9は（別売）サブリモコン増設時のみ表示します。

■オプションスイッチの操作・設定変更方法

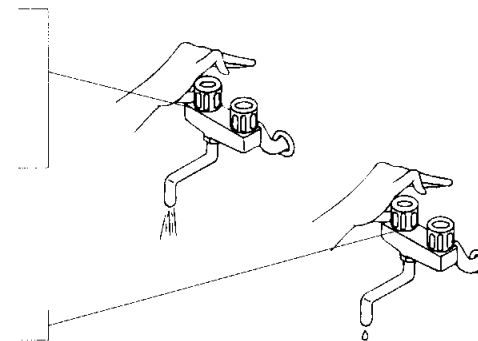
- No.1「TEL登録」の方法

- ①「運転」スイッチが「切」の状態
でメインリモコンの「OS」（オプション）スイッチをボールペンの先のようなもので押して「入」にします。（針のような先の鋭いものは使用しないでください。）



使用方法

- ③浴槽の給湯栓を開いて給湯します。
 - 設定量を給湯するとメインリモコンのメロディ音と音声でお知らせします。
 - 「音声ガイド」 「蛇口を閉めてください」



- ④浴槽の給湯栓を閉めます。

- 浴槽への給湯を途中でキャンセルするときは、給湯栓を閉じるとともに「お湯張りお知らせ」スイッチを「切」にします。

お願い

- お湯張りお知らせ運転を行うときは、リモコンの給湯温度設定は設定したときと同じ温度設定で使用してください。給湯温度設定が変わるとメロディ音が鳴るときの湯張り量が変わることがあります。
- リモコンの給湯温度を変えたり、メロディ音が鳴るときの湯張り量が変わったときは設定をやり直してください。
- お湯張り中に、他の給湯栓やシャワーを使いますと、その量だけメロディ音が鳴るときの浴槽への湯張り量が少なくなります。
- 「予熱中」表示が点灯しているとき、お湯張りお知らせスイッチを「入」にすると「ピッピッピッピッ」と発信音が鳴り、ランプが点灯しないときは、操作を受け付けません。「予熱中」が消灯するまでお待ちください。

ご注意

- お湯張り量設定中は、お湯張りお知らせスイッチを受け付けません。お湯張り量設定が終了するまでお待ちください。

4. 使用方法

使用方法

■運転予約スイッチ

●運転予約をするとあらかじめ設定した運転予約時刻の5分前に、電気ヒータに通電し運転予約時刻には予熱が完了しているので待たずに給湯運転ができます。

- 運転予約には「朝」「昼」「晩」「□」の4つの表示があり、それぞれ予約時刻を設定できます。(工場出荷時は朝；AM6：00・晩；PM6：00の2つが設定されています。)

工場出荷時の設定で運転予約する場合

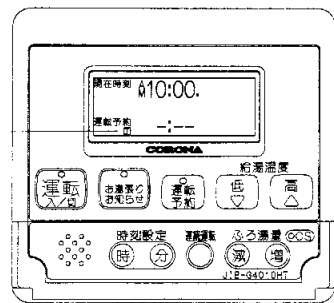
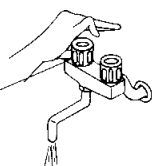
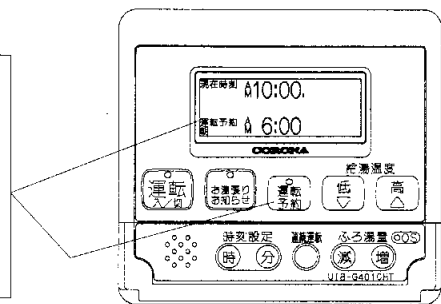
- ① を押して「入」にします。
 - 運転予約ランプが点灯します。(発信音 **ピッ**)
 - 「運転予約朝」表示が点灯します。
 - 運転予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。
- ② を続けて押すと「昼」「晩」「□」と切替わります。

「朝」か「晩」に設定してください。

- 運転予約スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なく受け付けます。
- 運転予約スイッチは「切」にしないかぎり毎日朝6：00と晩6：00からは待たずに給湯栓を開けば給湯できます。
- 運転予約時刻の5分前に予熱を開始し、予熱が完了した時点で予約時刻にならなくてもブザー、音声でお知らせします。
- 予約時刻までは、タイマー表示が表示されていますが、給湯運転はできません。

- 運転予約を途中でキャンセルするときは運転予約スイッチを押して□表示にし、もう1回運転予約スイッチを押して「切」にします。

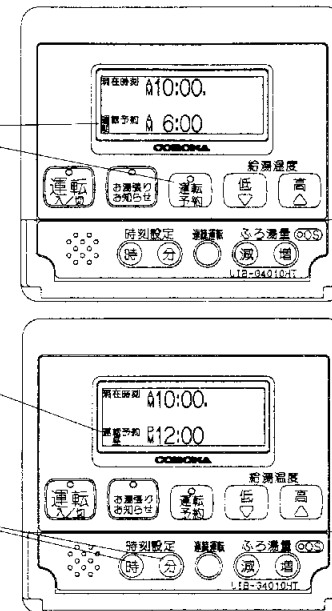
お願い 現在時刻を設定しないと運転予約はできません。現在時刻を設定してください。(14ページ参照)



使用方法

■運転予約時刻の変更方法

- ① を押して「入」にします。
 - 運転予約ランプが点灯します。(発信音 **ピッ**)
 - 「運転予約朝」表示が点灯します。
- ② 運転予約スイッチを押して、「朝」「昼」「晩」「□」の予約したい時間帯を選んでください。
- ③ 時、分 スイッチで運転時刻を変更します。
 - 運転予約時刻が変更されるとそのまま運転予約運転となります。



- 運転予約は「朝」「昼」「晩」「□」の4つの予約時刻を設定することができます。設定時刻を「-：-」にするとその時間帯のみ運転予約は行いません。

お願い 停電になると初期設定（工場出荷設定）になります。現在時刻を設定（14ページ参照）したあとで運転予約時刻を希望の時刻に変更してください。